

## CEC21ワークショップ 研修モジュール

(1) モジュール名	C-2：ブレインストーミング モジュール
(2) タイプ	[ ] A：理論解説 [ ] B：課題解決 [●] C：参加体験
(3) 主な能力	( ) 対話 (●) 交流 (●) 討論 ( ) 説得・納得
(4) 準備物	付箋紙 (参加人数×10), 模造紙 (グループ数), マジック (グループ数) 資料 (プレゼンスライド) コミュニケーション力指導の手引き (関連ページ copy)

### (5) 流れ [60分]

時	主な活動内容	具体的内容・備考
3分	1. ワークショップのねらいを知る。	・参加型の学習方法である「ブレインストーミング」及び「KJ法」を体験するワークショップであることを伝える。
7分	2. ブレインストーミングの基本ルールと進め方を理解する。	・参加者（学習者）全員で意見を出し合い、新たなアイデアを生み出すための手法であることを説明する。 ・資料（スライド）を使い、ブレインストーミングの原則と進め方を確認する。
30分	3. テーマに沿って、全員でアイデアを出し合う。【交流】  テーマ：「学校を楽しくする方法」	・学年、担当教科、役職等を考慮してあらかじめグループを作っておく。（WS開始時にグループごとに座らせておくといよい。） ・グループファシリテーター（進行役）を決める。（あらかじめ指名しておくといよい。） ・付箋紙を参加者に配布し（1人10枚程度）、まず各自のアイデアを書き込ませる。（キーワードで書き出すように指示する。） ・付箋紙を1枚ずつ出しながら、順番に発表させる。 ・グループファシリテーターは、「批判厳禁」に留意させ、話しやすい雰囲気作りに努める。 ・発表した付箋紙は模造紙に貼っていく。（ここでは、関連性は考慮せず、無造作に並べてよい。）  ※ブレインストーミングのみで研修を終える場合は、ここで終了。（ブレインストーミングを取り入れた学習を計画して、まとめとする）

10分	6. グループごとに発表する。	・グループファシリテータを中心に、グループの意見を発表する。(各グループ2分程度)
3分	7. 研修のまとめをする	・ブレインストーミングの手順とポイントを確認する。 ・ブレインストーミングを取り入れた学習を計画する。

(6) 指導の手引での関連する内容

指導の手引き P108 -109 みんなの考えを出し合おう (国語・3年)

[作成者：佐和 伸明]